

# 血圧脈波検査(PWV/ABI)

## 血圧脈波とは？

両手両足の血圧を同時に計測して、動脈硬化や血管の詰まりをみる検査です。動脈硬化の指標としてのPWV値、動脈の詰まりの指標としてのABI値を同時に算出することができます。

## PWVとは？

PWV(pulse wave velocity)は、日本語で言うと「脈波伝播速度」のことです。脈波伝播速度とは、血液が心臓から拍出された際に生じる拍動が末梢の動脈に伝わる速度のことで、主に動脈壁の硬さを評価します。

## ABIとは？

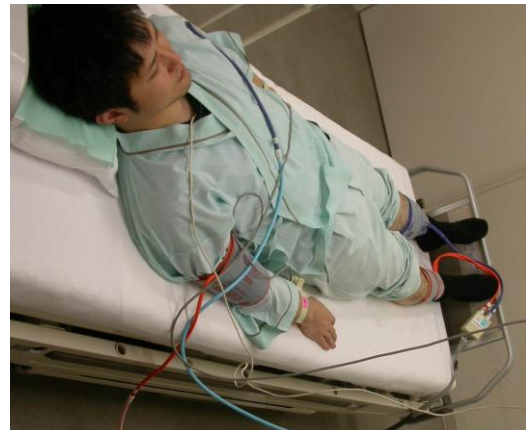
ABI(ankle brachial pressure index)は、「足関節/上腕血圧指数」のことです。ABIにより、閉塞性動脈硬化症を診断し、全身の心血管系の健康状態をも評価することができます。

ABI=足関節収縮期血圧/上腕収縮期血圧（左右の高い方を使用）

## 検査の実際

- ① 患者さんに厚手の服や靴下を脱いでいただき、ベッドに仰向けで寝ていただきます。
- ② 患者さんの両腕・両足首に血圧計を、両手首に心電計を、胸に心音計を装着します。
- ③ 検査スタートします。

検査中、患者さんは仰向けで寝ているだけです。5分程度で終わります。



### 注意点

- ① 検査中の患者さんは動いたり、声を出してはいけません。
- ② 両腕、両足の血圧を測定するので、厚手の服や、四肢を締め付けるような下着は避けて下さい。検査の際は脱いで頂くことになります。
- ③ 透析をされている患者さんのシャント側の上腕血圧は測定できません。シャント側の上腕に圧をかけると、シャントが潰されて透析が不能となることがあります。
- ④ 基本的には痛い検査ではありませんが、収縮期血圧が 200mmHg 近い方では、血圧測定時の加圧が高くなるため、痛みを感じる場合があります。どうしても我慢できないときはお話し下さい。